

放課後等デイサービス事業所における評価結果（公表）

公表：令和7年 1月 10日 事業所名 時のひかり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	5	・狭いながらも工夫をしながら物をかえたり館内全体を活用している。 ・今後の増員にあたってはせまくなる。かけはしの交流室を借りるなどしていく。 ・長期休みは混雑している。他のスペース活用。	・スペースがせまく、工夫はしているが、適切とは言えない。 ・利用定員・スタッフが増えたこともあり、スペースが狭く感じるが増えた。 ・利用人数や車いすの台数によっては非常に狭い。 ・もう少し広さがあればと思うものの、日常的には充分と思う。
	②	職員の配置数は適切である	11	0	・それぞれの職種が協力し支援を行っている。 ・人員基準以上の配置を行っている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	0	・配慮はされているが通路に関して狭い箇所がある。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	0	・朝礼、モニタリング会議、ケース会議を定期的実施している。 ・セクション面談	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	・常々保護者の意向を把握して情報共有を行っている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	・事業所としての自己評価をホームページにて公表を行っている。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4		・今後実施予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	・内部研修・外部研修への参加を行っている。 ・法人で委員会を実施したり、外部講師を依頼したりしている。	・今後はさらにもっと多く取り入れていきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	・アセスメントの実施、月間モニタリングの実施、ケースカンファレンスを実施して計画書を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0	・アセスメントシート2種類とニーズ整理シートを用いて作成している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	・それぞれ協力し合いながらミーティングを開催して、検討後プログラム立案を行っている。 ・持ち回りでやっている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	・スタッフ間で検討し、集団・個別とも案を出し合っている。 ・季節や行事に合わせた取り組みや、クッキングなども取り入れている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1	・大まかには決めて取り組んでいる。 ・利用の季節、時期、時間に合わせて内容を設定して実施している。 ・長期休みはお出かけを増やしたりよく考えられていると思う。 ・長期休暇には外出やクッキング等を取り入れている。	・課題を一人一人細やかに設定するまで取り組めるとよい。→方法について検討していく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	・アセスメントの結果、個別支援計画案の中で個別、集団とそれぞれにプログラムを専門職、職員同士協働して実施できるよう作成している。		

	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日朝礼又は終礼にて確認している。</li> <li>・朝礼時、一日の利用児、担当を確認して実施する予定の支援内容を確認している。</li> </ul>	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了後や朝礼時に必要事項を確認、振り返りを実施。不在の職員にも確認できるようにノートを活用している。</li> <li>・毎日朝礼又は終礼にて確認している。</li> <li>・情報共有を朝礼時必ず行い、記録にも残しもれのない様に務めている。</li> <li>・支援終了後ではないが翌日に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っているがみんなでの参加が難しい時がある。</li> <li>・業務終了が異なるため翌日になることがある。</li> </ul> <p>→ノート・業務日誌にて共有していく。</p>
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト（カイボケ）を活用して日々の記録を徹底している。入力後はプリントアウトを行いファイルにまとめていつでも確認できるようにしている。</li> </ul>	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1か月に1回の月間モニタリング、6か月に1回の計画書にもとづくモニタリングを実施している。</li> <li>・スタッフ全員で実施している。</li> <li>・こまめに行い内容も行き届いている。</li> </ul>	
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの理解と実現を踏まえ支援を行っている。入職者には研修の中でガイドライン読み込みを行っている。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には管理者・児発管・担当者が出席。必要に応じて看護師、保育士、理学療法士などが出席している。</li> <li>・児発管・受持担当者が出席している。</li> </ul>	
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へお迎え時、担当者が情報共有を行っている。また学校からの連絡について保護者より書面で承諾を得て連絡帳や書類を確認している。</li> <li>・送迎時に配布物などにて確認・調整している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、教諭とはもう少し連携が取れたら良いと思う部分もある。→情報共有の仕方については引き続き改善していく。</li> </ul>
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医より通所に必要な診療情報提供書（囑託医へ）、指示書をいただき支援・連携体制を整えている。</li> <li>・下の階のみのりファミリークリニックに診療情報提供書や報告書の提出を定期的に行っている。</li> </ul>	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援から放課後等デイサービスへの利用児に担当者会議や書面でのやり取り、相談支援専門員を通してそれぞれ実施している。</li> <li>・支援会議等にて行っている。</li> </ul>	
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事例はなかったが今年度卒業する利用児さんがいる。円滑に移行できるよう準備を進めている。</li> <li>・まだ事例なし。</li> <li>・現在対象時はないが必要時実施していく予定。</li> </ul>
	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催の研修会の参加、情報共有や連携をとっている。</li> <li>・アーチル等の研修を受講している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多く取り入れていけると良い。（研修や助言）</li> </ul>
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童クラブや児童館との交流はないが、リハビリセンターや時のかけはしのお年寄りとの交流は設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービスでは実施していない。</li> <li>・隣の保育園と交流する機会は設けている。</li> <li>・時間が短く工夫は必要だが、取り入れていけると良い。</li> <li>・放デイの方では交流の機会がないため、今後長期休みを利用して交流の場を作っていきたい。</li> </ul>
	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務者ネットワーク会議に参加している。</li> </ul>	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	・送迎時等に情報共有している。 ・送迎時や連絡帳、必要時管理者からの連絡を行い、報告、課題の整理、共通理解を図っていく。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	4	・家族支援の一つとして各専門職と面談を行っている。家族支援プログラムについては準備中。	・まずは職員が対応力を身に付けていく。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	・契約時に説明している。 ・契約時、必要時に説明を実施している。	
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1	・お話を傾聴して、必要に応じて様々な方法や選択肢をお伝えしている。	・助言と支援までは行っていない為、対応力を身に付けていく。→機会を設ける等検討していく。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	1	・年2回保護者会を実施している。交流の機会を設けたり、出席しやすいよう工夫をしている。 ・保護者会を年2回開催している。 ・夏祭り等と保護者会を組み合わせたりして、とても良いと思う。	・希望があればより多く取り入れたい。 →機会を設ける等検討していく。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	・直接、電話や送迎時、連絡帳、保護者会の時に相談や申し入れを聞く機会を設け、対応している。	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	・毎月の新聞発行、ホームページ更新、面談、保護者会等にて行っている。 ・時のひかり新聞の毎月の発行、ホームページの更新を行い、活動の様子、行事予定、連絡等を行っている。 ・時のひかり新聞の内容はすべて入っていてよくできていると思う。	・お便りを出す時期については引き続き検討していく。
	㉗	個人情報に十分注意している	10	0	・ファイルごとにまとめて鍵付きの書庫に保管している。	・ホームページ掲示の際は、保護者の同意を得て写真を掲示している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	・言葉やカードなどの視覚支援、ジェスチャーなど「伝わる」方法で伝達するよう心掛けている。 ・絵カード等の活用含め配慮している。	・継続していく。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	2	・秋祭りの開催や夏祭り時の出店依頼など行っている。 ・時のかけはしと共同で実施、今後地域交流を図っていく予定。 ・時のかけはし入居者さんをイベントに招待している。	
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0	・マニュアルを策定し説明と周知、必要時訓練を実施している。	・確認する時期を決めて職員間で共有する場を設けられると良い。→年間行事等調整しながら、時期については引き続き検討していく。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	・年2回実施している。	・年1回では少ないと感じる為、数回取り入れると良い。→年間行事等調整しながら、時期については引き続き検討していく。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	・年2回実施している。 ・年2回の委員会を必ず行い対応力向上に努めている。	
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	・身体拘束の例外3原則を踏まえて実施する際の規定を定めている。	
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	・指示書の確認を契約時に行い、保護者への確認を行っている。	
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	・ヒヤリハットが出た場合、報告書をもとに検討し、ファイルにまとめている。 ・朝会で迅速に行われている。	

